

# Message メッセージ

自民党長野県第二選挙区支部長 務台 俊介  
衆議院議員

## コロナ禍とあるべき財政政策

コロナ禍の支援策で日本も欧米と同様、空前絶後の規模の財政出動に踏み出していますが、これまで政府債務を減らさないと財政破綻すると主張してきた財務省をはじめとした政官財として主流経済学者の多くが何故か沈黙を保っています。今は危機であり緊縮財政どころではないということとその主張を自粛しているのかと思いきや、実はデフレの日本で政府債務が積みあがると財政破綻が起きるとい理屈そのものが誤った理論ではないかということが最近指摘されてきています。

欧米で政府の負債が増えている中で、世界的には金利は低下し、マイナス金利となっていることも珍しくありません。財政破綻とは、累増した債務の金利が上がり借金を払いきれなくなることから生じる事態であるはずですが、その事態は生じていません。もちろん最近で言えば、アルゼンチン、エクアドル、レバノンなどの債務不履行に陥った国はありますが、これらの国は外国から借金をし財政資金を得る中で、自国通貨が暴落し外貨建ての元利払いができなくなっているという事情があります。日本のように国債のほとんどを自国通貨建てで発行し、国内消化できている国とは事情が異なります。

国債を発行しても、金利が上がらず、財政支出により人々の暮らしや景気の下支えをできるのであれば、財政赤字を厭うべきではないという考えが最近広がっています。本当に大丈夫か、という心配の声もありますが、それに対してMMT(現代貨幣理論)が理論的整理をしています。私も国内外の学者の考えを伺い、著作物を読み、それなりの理解は持っているつもりです。

今の現状がインフレであるのであれば、インフレ対策として、需要を抑制するために、緊縮財政を実行し、増税し、供給力強化のために競争促進、自由貿易・グローバル化を促進すべきであるが、デフレ下の現状では、供給過多であるから需要を刺激するデフレ施策が必要で、そのためには積極財政、減税、規制強化、自由化・グローバル化の抑制が必要であるとの説明です。

平成時代の日本の問題は、デフレ下にも拘わらず、デフレ政策ではなく、インフレ政策を継続してきたことが失敗であったとの総括です。財政再建を金科玉条とし、プライマリーバランスの均衡、公共事業抑制、社会保障経費抑制、消費税増税という財政健全化路線が、実は日本の経済成長を阻む自縄自縛の施策だったという総括です。

その政策の根拠となる法律は財政法で、同法4条には「国の歳出は国債に頼ってはいけない」という均衡財政原則が規定されています。例外の但し書きはありますが、この法律に沿って財務省や主流派経済学者は均衡財政論を主張し続けてきました。最近知ったことですが、実はこの

規定は、赤字財政は戦争につながるのだという論理から、憲法9条の戦争放棄を国家財政の面から裏書保証するために盛り込まれたものとの経緯があるのです。その意味では、財政均衡論も、憲法9条のように、疑うことも許されないイデオロギーのような存在だったのです。仮にそれが古めかしい思想でも、イデオロギーや信念自体を変えることはなかなか難しいことを我々は経験的に知っています。

戦後から40年間は、インフレとの戦いの時代であり、この均衡財政論は正しかったと言えます。しかし一転、デフレに悩まされた平成時代は、実はこの均衡財政論は正しい論理ではなくなっていたということになります。しかし、財務省も主流派経済学者も途中で考えを変えるわけには行きませんでした。

振り返れば、私自身もそうでした。現役の公務員時代には「入るを量りて出るを制す」、「出るを量りて入るを制す」という歳入(税)と歳出のバランスを考えるのは当然であるという、一種の財政道徳、倫理のような意識を持って税制改正や予算の積み上げ・査定などの作業に携わってきました。個人の家計の延長線上で国会の財政も捉えていました。しかし、自国通貨建てでの国債発行という手段は、その財政道徳の制約を乗り越えるパワーを持っているのだという議論に接し、最初は戸惑い混乱しましたが、様々な財政指標の推移を見るにつれて、少なくとも今のデフレの状況下においては機能させてもしかるべき理論のように受け止めています。

財政出動を通じデフレを克服し、経済成長を実現し、少子化対策のために公共サービスを充実させれば、子供を持つことに躊躇している若い夫婦の琴線に響き、人口の減少も軽減できます。財政健全化路線が、却ってその対策を妨げて来てしまいました。ましてや今は、コロナ禍で需要が蒸発してしまう危機的状況です。蒸発した需要を埋め、国民が将来に向け希望を見出せるように、国債発行を躊躇せず大胆に行い、思い切った積極財政を今こそ打たなければなりません。

仮に、一連の財政政策の結果、経済成長が実現し、インフレ基調が定着する場合には、その時こそ歳出を抑え、増税を行い、インフレの頭を押さえるインフレ対策を講じていくことが必要です。そのためには、インフレ時には、弾力的に増税ができるような硬直的でない仕組みが必要です。今は、一度減税すると再度増税する場合に国民の理解が得られないということで減税を躊躇する考え方が主流です。英国では付加価値税(VAT)の増減税は首相の判断で出来ます。日本も社会経済の状況に応じて柔軟に対応できるシステム転換を、コロナ後の改革の中で考えていかなければなりません。

あなたの声をお聞かせください。  
政策や日本の将来を語り合しましょう。  
ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

【自由民主党長野県第二選挙区支部】  
住所:長野県松本市白坂2-3-30 大永第3ビル101  
TEL:0263-33-0518 FAX:0263-33-0519  
mail:office@mutai-shunsuke.jp

【国会事務所】衆議院第一議員会館403号室  
住所:東京都千代田区永田町2-2-1  
TEL:03-3508-7334 FAX:03-3508-3334



# むたい俊介 ニュース

2020年 秋号 / No.26



公式Twitter ▶ @mutaishunsuke facebook ▶ https://www.facebook.com/mutai.shunsuke  
ホームページ ▶ www.mutai-shunsuke.jp



▲党内の補正予算議論での発言

## ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症対策の影響が各方面に及び心よりお見舞い申し上げます。

安倍前総理の辞意表明を受けて、私も支援した菅新総理が誕生しました。当面のコロナ禍への対策はもちろん「世の中に埋もれている数多くの当たり前でないことを正していく」という姿勢で、具体的迅速に課題に対応しています。またコロナ禍の中、東京一極集中といった国土構造の在り方についての課題にも取り組んでいかなければなりません。

衆議院議員の任期もあと残すところ1年を切りますが、私も政権を支える自民党議員として地元の声を届け、粉骨砕身努力して参ります。

## 活動をご紹介します

### 地域の皆様から声を伺っています

新型コロナ等の対応について、幅広く議論、提言をしてきました。また、地域の皆様へのアンケート調査や、地元自治体や経済関係者に丁寧に聞き取りを重ね、深掘りの対応ができるよう各種機関と連携をとっています。



▲松本市長と市の課題について意見交換



▲山小屋の経営者の皆様と小泉環境大臣にコロナ禍の現況を訴える



▲長野市豊野町のミニ集会で台風災害から約1年の状況を伺う

## 日々の活動をwebで公開しています

公式Twitter @mutaishunsuke facebook https://www.facebook.com/mutai.shunsuke  
 ホームページ www.mutai-shunsuke.jp

むたい俊介 検索



▲むたい俊介公式ホームページ

# 災害対策に万全を期しています

令和2年7月豪雨災害は県内にも被害をもたらしました。現場に赴いて被害を自らの目で確かめ、担当の行政機関や政府にしっかりと対応を依頼しています。復旧とともに新たな備えのために何が必要か「ビルド・バック・ベター」を考えていく必要があります。

生坂村の崩落現場にて



## 議員立法・議連での活動

議員立法で実現した「特定地域づくり事業の推進に関する法律」で、都会から若者が中山間地に移住し、地域に定着できる法的な素地をつくる他、最低賃金全国一元化やサテライトキャンパスの実現で、大都市への一極集中の是正を進めています。

デービッド・アトキンソン氏と最低賃金について議論



## 現在の主な役職を紹介します

(2020年11月現在)

リモート会議も頻繁におこなっています

### 【衆議院 所属委員会等】

- 総務委員会 理事 ●憲法審査会 委員 ●環境委員会 委員

### 【党役職(自由民主党)】

- 環境部会長代理
- 憲法改正推進本部 幹事
- 行政改革推進本部 防災体制見直しチーム 事務局長
- 過疎対策特別委員会 事務局長
- 雇用問題調査会 幹事
- 子どもの元気!農山漁村で育むPT 事務局長
- 国土・建設関係 団体委員長
- 国際局 次長
- 中央政治大学院 副学院長

### 【議員連盟】

- 超党派「山の日」議員連盟 事務局長
- 自由民主党水道事業促進議員連盟 事務局長
- スキー議員連盟 事務局長
- 自由民主党木質バイオマス・竹資源活用議員連盟 事務局長
- 最低賃金一元化推進議員連盟 事務局長
- 茅葺き文化伝承議員連盟 事務局長
- 森のようちえん振興議員連盟 事務局長
- 自由民主党ウィンタースポーツ&リゾート議員連盟 事務局長代理
- 自転車活用推進議員連盟 事務局次長兼自転車活用PT座長代理
- 捕獲鳥獣食肉利活用推進議員連盟(ジビエ議連) 事務局次長
- 火山噴火予知・対策推進議員連盟(火山議連) 事務局次長
- 自由民主党消防議員連盟 事務局次長
- 自由民主党再生可能エネルギー普及拡大議員連盟 副幹事長
- 人口急減地域対策議員連盟 事務局次長

### 【その他】

- 長野縣護国神社 総代会長
- 一般財団法人全国山の日協議会 副会長・理事



## むたい俊介プロフィール

昭和31年 (1956年) 安曇野市(旧三郷村)生まれ、大町市・旧豊科町で育つ  
 昭和50年 松本深志高校卒業  
 昭和55年 東京大学法学部卒業後、旧自治省入省、地方分権推進委員会参事官、総務省消防庁防災課長、総務省調整課長、総務省大臣官房参事官、自治体国際化協会ロンドン事務所長などを歴任  
 平成21年 衆議院議員選挙に初挑戦  
 平成22年 神奈川大学法学部自治行政学科教授を務める  
 平成24年 第46回衆議院議員選挙で長野県第二区にて初当選  
 平成28年8月から平成29年3月 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官  
 平成29年 第48回衆議院議員選挙で3回目の当選

## 写真ギャラリー

地域を巡る中での各地区の皆様との触れ合いの一コマです。ご協力有難うございました。



松本市 上高地で豪雨の影響を視察



長野市 豊野地区で昨年の台風19号の影響を聞く



小川村 小川村の災害現場にて



信州新町 信州新町の災害現場にて



安曇野市 明科の堤防の内水氾らんの現場にて



飯綱町 飯綱町のリンゴ農家を訪問



水道議連で厚生労働大臣に要請行動



森のようちえん議連総会を開催



信濃町でテレワークの拠点施設を視察



長野市長・市議会議長から要請を承る



沖縄県知事から自民党過疎対策特別委員会 事務局長として過疎対策の要望を受ける



砂防事業促進議連総会にて